

島根県中部の三瓶山で確認されたヨツモンカメムシ (カメムシ目) の記録

皆木 宏明*

Records of *Urochela quadrinotata* Scott (Heteroptera, Urostylididae) in the Central part of Mt. Sanbe from Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

島根県で準絶滅危惧種に指定されているヨツモンカメムシ *Urochela quadrinotata* (カメムシ目クヌギカメムシ科) は、クヌギカメムシ科で最も大きく体長15mm内外、体形は楕円形、体が赤褐色で背面に明瞭な4つの黒色小紋があり、これが名前の由来となっている(島根県, 2014)。森林性の種で国内では北海道、本州、四国、九州に分布する(石川ら, 2012)。

本種は北方系の種類とされ、北海道や北日本では多産する地域も知られるが、西日本での記録は少ない。また山口県ではこれまで確認されていないため(田中, 2019)、島根県が本州の分布西限とされている。

これまでの県内の記録は県東部の奥出雲町、飯南町(文献では旧横田町、旧赤来町の2ヶ所)のみであったが(島根県, 2014; 野津, 2020) 今回、島根県中部の三瓶山(大田市)で本種を確認したので報告する。

発見した場所は、島根県大田市三瓶町北の原にある島根県立三瓶自然館や隣接する三瓶山北の原キャンプ場の建物の外壁や付近の地表面である。

本種は樹上性で夏季はニレ科の植物の高い樹上でもっぱら活動するため、確認されにくいとされる(石川ら, 2012)。しかし秋季には越冬のために地上へ降りてくるとされ、今回発見した時期が10月末から11月に集中していることから、越冬に備えて樹上を離れ地上へ移動した個体を確認したものと思われた。

確認記録

確認日	2019年10月31日	1個体
	2019年11月 2日	1個体
	2019年11月 4日	1個体
	2020年10月31日	1個体
	2020年11月19日	1個体

確認場所 島根県大田市三瓶町北の原

採集者 いずれも皆木宏明

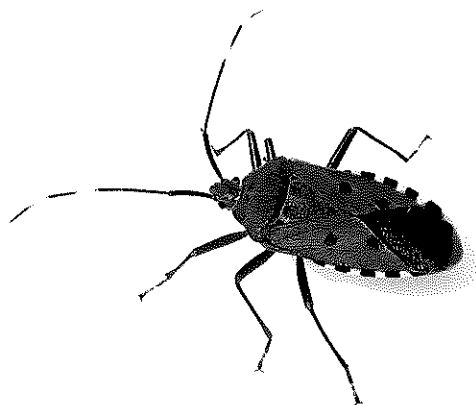


写真: ヨツモンカメムシ

引用文献

- 石川 忠・安永智秀・高井幹夫(編)(2012) 日本原色カメムシ図鑑第3巻. 全国農村教育協会, 東京. 573pp.
- 田中伸一(2019) 山口県産半翅目目録, 豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書. 第11号 49-136.
- 野津幸夫(2020) ヨツモンカメムシを島根県奥出雲町で採集. すかしばNo.67.43
- 島根県環境生活部自然環境課(2014) しまねレッドデータ2014 動物編, 島根県. 159pp.

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan